



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



サカナ・魚・さかな

VOL.275 **もくじ** P1 灘漁港 P2 由良の販売所 P3 ととやす P4 仮屋漁港の競り P5 鯛ラーメン・じゃのひれ P6 大和や P7 子育てポケット、ポケットエッセイ P8~12 淡路文化会館・淡路県民局・淡路島くうみ協会からのお知らせ・淡路の文化活動・イベント情報

淡路島南部の紀伊水道に面した南あわじ市土生の灘漁港。季節ごとにいろんな魚が水揚げされ、釣り場としても、沼島行の定期船発着場としても利用され、地域の重要な役割を担っています。漁港に伺ったのは午後2時すぎ。ちょうど漁船が港に戻り、魚の選別や荷造りの仕事がほぼ一段落した頃でした。その日獲れた魚は、スズキ、ヒラメ、メバル、長ハゲ、鯛など...豊富。

南あわじ市灘漁港

浜売り：9時から12時まで
火・土 休み
7月～9月は休漁期間



南あわじ市灘土生 1-1

多彩な魚が獲れる灘で漁師体験



次世代に漁業の魅力を
発信していきたい。

南方系のカラフルな魚が
入ることもあります。

写真提供：淡路島観光協会

灘の漁師さん

南淡鮮魚 西野 恵介さん

お話を伺ったのは漁師の西野 恵介さん。灘漁港も30年ほど前に比べて漁師の人数は半分に減り、そして高齢化。また、温暖化で海水温が上がり、獲れる魚の種類も大きく変わってきたそうです。そういった大きな変化の中、出荷がなくなり、魚を卸すところがなくなってしまいました。そこで、地元で定置網漁をしている漁師3軒で「南淡鮮魚」という会社を立ち上げたそうです。仲間の協力もあり、2年前から漁協の出荷先を引き継ぎ、姫路などの関西方面だけでなく、横浜や豊洲など関東地方の市場に直接出荷できるようになりました。

地元の人に新鮮な魚を食べてもらいたいとの思いがある「南淡鮮魚」では、漁から帰ってきたばかりのとれとれピチピチの魚を個人で買うことができます。浜売りは、荷さばき場で、朝9時から12時までです。

(応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代)



定置網漁



南淡鮮魚

定置網漁



イカ



鯛



競り台の上

洲本市由良



シタビラメ



由良の販売所

由良町漁業協同組合地方卸売市場

初めて魚市場に行きました。魚市場というと大きな声が飛び交っているのかと思っていましたが、意外と静かな市場でした。市場中央に競り台が三ヶ所あり、主に魚介類ごとで別れて競りをしているようでした。この台の上に次々と競りにかけられる魚の入った箱が乗せられ、競り人たちが小さな木札に価格を書いて入札し、その価格の一番高い人が落札します。その間ほとんど声がなくて次々と落札した店が魚を急いで運んで行きます。その間にも競りにかける箱を台に乗せる人、価格を書いた札を入札する人など、たくさんの人たちが忙しそうに動いていました。

洲本市由良の由良中学校の横にある「由良町漁業協同組合地方卸売市場」ですが、この市場のことを地元の人たちは「販売所」と呼んでいて、由良では販売所という方が通じます。



底引き網漁

午前11時30分にバルが鳴り、競りが始められます。それまでに市場の前の岸壁には入れ替わり立ち替わり漁を終えた漁船が着き、捕れた魚を降ろしていきます。その魚を市場に出すため主に女性たちが魚介類ごとや大きさをそろえ、きれいに並べて箱に入れていきます。この日に見た魚はタイ、ハモ、シタビラメ、イカ、エビ、ホウボウ、タチウオ、アジ、ガシラ、キスなど20種類くらいかな。ほんとうに魚種が多いなあって思いました。

漁業協同組合参事の竹田 純さんにお聞きすると「由良地区は、潮の速い紀淡海峡をはさんで北に大阪湾、南に太平洋と豊かな漁場があります。由良の魚といえばタイやハモが有名ですが、それ以外にも多種の魚介類が水揚げされています。その漁獲量は年間約900トンで、水揚げされた魚介類は京阪神や東京の市場などに送られています。平成25年に由良地区にあった3つ組合が合併して現在の組合になりました。その時の組合員は約400人でしたが、現在は約200人に減っていて後継者不足になっています」と話されていました。

初めて魚市場へ行きましたが、水揚げされた魚介類や競りなどを見てとても楽しかったです。なお、漁業関係者以外の立ち入りは原則禁止のため注意が必要です。

(応援隊：田處 吉久)



競り

洲本市五色町



大漁旗と生け簀



漁師直営の海鮮丼屋

海鮮丼屋
魚魚やす

ボリューム満点 海鮮丼

【場所】洲本市五色町鳥飼浦395-1
【連絡先】0799-34-0151
【営業時間】11:00~14:00
【定休日】火曜日【駐車場】有り

獲れ立ての海の幸を堪能



ととやす定食

天ぷらは揚げたてサクサク

海に囲まれた淡路島ならではの魚の楽しみ方は多種多様。そんな中、美味しい魚、新鮮な魚を味わうことができる“海鮮丼屋 魚(と)やす”さんを訪ねました。場所は五色町鳥飼浦。鳥飼漁港のすぐ近くに 있습니다。店名の魚(と)は、昔からこの地域では魚のことを「とと」と言っていたことから魚を二つ並べて造語で魚(と)。それに店主の岡部恭範(やすり)さんの名前を組み合わせると“魚(と)やす”としました。

創業は2018年4月。漁師直営の海鮮丼屋としてオープンしました。家族経営で男兄弟3人が漁師。長男の和憲さんと三男の恭範さんと店を営んでいます。青い海に漁船“戎丸”や店名が描かれた暖簾をくぐると、店内奥の大きな生け簀と大漁旗が目飛び込んできます。壁には海鮮メニューが写真で展示され、どれもみな美味しそうで決めかねます。お刺身は勿論、魚の天ぷらも見逃せません。どれにしようかと迷った挙句、店主お薦めの“魚やす定食”と“海鮮丼”を注文。どちらもボリューム満点。朝獲れで活きの良さは半端なく、切り身も厚く、味噌汁は鯛のアラ入り。酢の物のワカメに至るまで獲れたての海の幸を堪能することができました。五色産のさわらは春と秋のメニューに、夏はハモがメニューに並ぶとか。とにかく四季折々の新鮮な魚が食べられる“魚やす”さんは人気の海鮮丼屋で、特に休日は観光客で賑わっています。

ただ、そんな“魚やす”さんは呟きます。「年々漁獲量は減っている。温暖化の影響かなー。魚以外に米や野菜などの高騰で料理の価格にも響いている。」と。様々な問題と葛藤しながら提供してくれるお料理は大満足の逸品でした。(応援隊：瀬戸 由美子)

漁師の家族が作る
新鮮素材の海鮮丼やで〜



仕出しメニュー豊富

鯛のアラ入り味噌汁
最高





東浦水産物荷さばき場

仮屋漁港の競り

淡路市仮屋

カレイ、ヒラメ、イカ、キス、アジ、タイ・・・

淡路市東浦水産物荷さばき場では、火曜日・土曜日以外の天候不良で漁に出ない日以外は13:30~15:30（全ての取引が終わり次第終了）の間、競りをおこなっています。

仮屋漁港に所属する漁船約40隻が仮屋漁港で漁獲物を競りに出す権利を持っています。仲買人は登録制の入札資格を持つ人で、取材日は8人の仲買人が競りに参加されていました。競りを取り仕切る競り人も特別な許可を与えられた人が行います。仮屋漁港では漁協の職員の中に資格を持つ人がおられ、競り人をされています。



入札、落札、競り台から競り品が降ろされるまで約30秒、スピード感に圧倒されました！

荷さばき場は広さ100m×50m。競り台は2m×1m。記録室、漁師用の生け簀、洗い場、競り待ちのセイロ（漁獲物を並べた籠）置き場、仲買人用の生け簀、活け締めなどをする処理場など、帰港から荷揚げ、競り待ち、競り、仲買人が競り落とした品物の処理、漁師さんの出港準備（セイロを洗うなど）までの一連の作業を行える設備が整えられています。

荷さばき場の前にある船着き場には15隻の漁船が荷揚げをしていました。漁船は底引き網漁で、大阪湾でカレイ、ヒラメ、イカ、キス、アジ、タイなどを漁獲してきており、家族や仲間と荷さばき場に運んでいました。荷揚げから競りまで時間がある場合は、生け簀に入れて鮮度を保ちます。

競りの様子を少し緊張しながら邪魔にならないよう見学させて頂きました。競り台に1度に5つほどの、丁寧に魚が並べられたセイロが乗せられて、入札、落札、競り台から競り品が降ろされるまでわずか30秒足らず。仲買人は自分の札にチョークで金額を書いて競り人の前に投げ出します。競り人は金額を見て札立てに立えます。「〇〇さん、△△円、〇〇さん」と読み上げ、最高値の落札価格を仲買人や漁師さんに見せます。記録は漁協の方が3枚複写の用紙に手書きで記入し、1枚は漁師さんに渡していました。漁師さんが仲買人の元へ落札された商品運び、仲買人は氷詰めや活け締めなどをして運搬車に乗せ、出荷先へ運ぶ用意をしていました。運搬車には生け簀や酸素ボンベなども備えられていました。次の出荷先は色々ですが、翌日午前3時には神戸中央市場にて競りにかける方が多いそうです。ほか、ホテルやスーパーなどから直接注文を受けて買付し、出荷されることもあるそうです。

とにかく鮮度が一番ですからそのスピード感に圧倒されました。毎日の生業とは言え、漁師さん、競り人、仲買人の皆さんが活きのいい魚を取引することへの努力と執念を強く感じました。魚大好きな私にとって、たまらない一日でした。今夜は魚料理にしよう決めました。

（応援隊：米田 静子）



関係者以外
立ち入り禁止



仮屋漁業協同組合
淡路市仮屋112-1
TEL 0799-74-2057

鯛満足 鯛ラーメン

ラーメン好きさん
必食

トッピングは鯛の最中♪

白の鯛白湯ラーメン

ほんのりピリ辛
赤の鯛担々ラーメン

うずしお鯛専門店 鯛満足 住所：南あわじ市福良甲1526-2 チャレンジモール福良CAP内（淡路人形座横） 定休日：火・水曜日 11:00~15:00

淡路島の鯛からじっくりと採る出汁と自家製の鯛オイルをスープと一緒に炊き上げて作った「白の鯛白湯ラーメン」と担々風のスープに合わせた「赤の鯛担々ラーメン」。目の前にやってきた二つのラーメンには可愛い鯛の最中がトッピング・オン！（何？ラーメンに最中？）もちろん中に餡子はありません。その下は自家製の鯛のほぐし身（淡路玉ねぎとのコラボほぐし身）。そして、鯛最中に負けていない存在感をかもし出している白いチャーシューは淡路島のブランド豚「えびすもち豚」のもも肉。緑の三つ葉をあしらって出てきたおしゃれな白と赤のラーメン。真っ白なスープは、明らかによく知っているラーメンスープと言うよりも まるでおしゃれな洋風スープのようでコクのある味でした。スープで鯛の姿の最中を溶かし、ふわふわになったところを食べるのがおススメ。応援隊も一滴も残さずスープを飲み干し大満足・完食。自家製の鯛オイルと鯛のほぐし身を混ぜて作る鯛めしも是非召しあがれ。そんな「うずしお鯛専門店 鯛満足」は、チャレンジモール福良CAP内。よい天気の日には、テラス席もおススメです。（応援隊：村上紀代美、坂本厚子）

魚と触れ合うならココ！



釣り体験
8:00~15:00

淡路じゃのひれアウトドアリゾート
フィッシングパーク

南あわじ市阿万塩屋町2660 TEL 0799-52-4477



いっぱい釣れました！

海に囲まれた淡路島は「食べてよし遊んでよし」の魚にまつわるスポットが満載。中でもここ「淡路じゃのひれアウトドアリゾート」は、そのすべてを満喫できるスポットです。今回はフィッシングパークを紹介します。

鳴門海峡を遠望する山と海に囲まれ、目の前を行きかうSUPやシーカヤック、うずしおクルーズ船を眺めながらの海上釣り堀。マダイ、ハマチ、ブリなどの大物高級魚も釣れます。季節によってはサクラマスやトラフグも。波静かな海の大型イカダは、揺れがなく、足場も広々。

応援隊が取材に訪れた日も午前中の数時間での釣果は、クーラーボックスいっぱいのお鯛！ビギナーやファミリー向けの安心プランもあります。レンタル釣具や餌も用意されているのでお手軽です。じゃあ、釣った魚はどうする？血抜き処理や三枚おろしなど調理してもらって持って帰ることもOK。釣った魚をそばのレストラン「太公望」で食べることもできます。（鯛の天ぷらが美味）アフターフィッシングのバーベキューもおすすめです。

今回「太公望」さんで販売されている「鯛めしの素」で鯛めしを作ってみました。洗ったお米に鯛とゼラチンたっぷりの出汁を合わせて炊くだけ。大きな鯛の切り身と上品な鯛の出汁をたっぷり吸ったご飯を味わうことができました。

（応援隊：村上紀代美、坂本厚子、川原雅代）

釣った魚は料理してもらえます。



釣った魚をレストラン「太公望」で食べるのもおススメ

釣った魚でお造り♪天ぷら♪

鯛の釜飯



鯛めしの素

レストラン「太公望」さんで購入した「鯛めしの素」を使えば、上品なプロの味を家で再現できました。





笑顔満開
江井の魚屋さん



淡路市江井



店主
谷 大輔さん、小枝さん



活魚鮮魚 **大和や**

【場所】淡路市江井3258-1 【連絡先】0799-70-1727 ※基本訪問販売のため、お問い合わせはお電話で。



淡路市江井にある魚屋さん、「活魚鮮魚 大和や」に行ってきました。オープンは2012年3月。経営しているのは谷 大輔さんと小枝（さえ）さん。「スーパーでは買えないような色々な種類の魚を子どもたちに食べさせてあげたい」という大輔さんの思いから誕生しました。

「大和や」では、魚をさばくのは難しく手間がかかるため、お客様が色々な魚に挑戦しやすいように全て下処理をして販売。簡単な調理のみで食べられる商品も多数あります。大輔さんの推し商品は、しょうゆベースのタレで味付けした「ハマチのタレ漬け」。秘伝のタレに漬かったハマチは焼いても揚げても美味しく、ご飯にとでも合います。

また、笑顔が素敵な妻の小枝さんは一人暮らしの高齢者や子育て世代など、常連のお客様のもとへ訪問販売をしています。お客様の笑顔が仕事のやりがいなんだとか。日曜日は伊弉諾神宮前の直売所の前を借りて販売もしています。「島外に住む子どもや孫に持っていくんだと買ってくれるお客様もいて、美味しい魚を広めることができやりがいにつながっている。2人で経営している小さな店ですが、開店当初から愛してくれているお客様がたくさんいます。皆さんの食卓が笑顔になればいいな。」と語る大輔さん。

取材日も店の外まで2人の楽しそうな笑い声が聞こえてきて、なんだかほっこりしました。

(淡路文化会館：谷 茉祐)



日曜日は伊弉諾神宮前の
直売所で販売してます。

日曜日は7:00~10:30



おすすめは
ハマチのタレ漬け



焼いても
揚げても
美味しい!



子育てポケット



とってもやさしく妹思いのお兄ちゃん。バスと電車を乗り継いで、毎週神戸まで頑張っ合気道を習いに通っています。はずかしがりやだけど、しっかり者の妹。ダンスと工作が得意で家でYouTubeを見ながらアイドルグループの振りマネをしたり、いろんな作品を作って楽しませてくれます。

習い事のバレエも家でストレッチを頑張っ楽しんで通っています。いつまでも、お互いに助け合っ仲良し兄妹でいて欲しいです。

はる&ことの父と母



ポケットエッセイ

今回書くのは
応援隊 田處 吾久

2月上旬、沖縄一周ジャーニーラン（走りながら旅をするランニング）に今年も行ってきました。

1日目は国際通りや第一牧志公設市場などを探索。
2日目は那覇からバスに乗って「斎場御嶽」まで行き、それからグループで「知念岬」「ひめゆりの塔」「喜屋武岬」など走り歩きました。
3日目は普天間飛行場に隣接する「佐喜眞美術館」に行きました。次に行ったのは世界遺産の「中城城跡」「勝連城跡」です。どちらも3回目ですが、やはり石垣の曲線がきれいですね。それから今回が初めて通る4kmあまりの「海中道路」を通っ浜比嘉島の民宿に着きました。
4日目は、うるま市から金武町、宜野座村、辺野古などを走り歩いて東村の民宿に着きました。



5日目、東村から「やんばるの森」をひたすら北へ向かいます。アップダウンが多くて大変でした。
6日目は民宿を出発して沖縄本島最北端の「辺戸岬」そこから西海岸を南下。
7日目、屋我地島を経て今帰仁城跡へ行きました。ここも桜が満開でとてもきれいでした。
8日目は「名護城跡」へ。それからオリオンビール工場を見学したかったけど現在は休業中。試飲ができず残念です。それから「万座毛」へ。
9日目、「座喜味城跡」などに行き、那覇へ帰りました。那覇では「首里城跡」「真珠道（石畳の坂道）」「国際通り」から最後に宿泊するホテルへ。メンバーも高齢化している中、約350km走り歩いた9泊10日はあっという間でした。



淡路島にお住まいの皆さまからの投稿を大募集！！

「子育てポケット」でお子さまの日常や楽しかったこと。「ポケットエッセイ」で訪れた場所や体験したことを紹介してみませんか？メールで皆さまからのご応募お待ちしております♪お気軽にお問い合わせください。

情報投稿先：淡路文化会館 谷苑
Mail : info-awabun@farm-group.com
問い合わせ：☎0799-85-1391
FAX 0799-85-0400
〒656-1521 淡路市多賀600

美術展示企画

淡路文化会館からのお知らせ

淡路文化会館HP



池の上に佇む美術展示室と県民ギャラリーでは、1年を通して様々な美術展示企画を開催します。2025年美術展示年間カレンダーは淡路文化会館のホームページをご確認ください。

写真はR6年6月「野の花作品展」開催時の様子です



2025年6月・7月スケジュール

◆ 畠田哲郎作品展

展示期間:2025/6/10~2025/6/24 15:00まで
展示内容:色えんぴつによる身近な野鳥の愛らしい様子。その他ボールペンによる繊細な表現を多くの方々に観ていただきたい。

◆ 松浦小波 遺墨展

展示期間:2025/6/26~2025/6/30
展示内容:書道家 松浦小波の遺墨展。紙を切り裂くような線質を求めた書道家の、見る人を圧倒する臨書作品を展示します。

◆ 日本画サークル展

展示期間:2025/7/2~2025/7/22 15:00まで
展示内容:様々な流派のグループの作品を展示します。日本画に親しんでもらい、日本画を描き始めるきっかけになってほしいという思いがこもった作品展です。

◆ 明兆他パネル展

展示期間:2025/7/1~2025/9/26
展示内容:淡路島万博の一環として明兆文化史・庚午事変・相撲歴史のパネルを展示します。

兵庫県淡路県民局 淡路青少年本部からのお知らせ

「親子deドローン体験」参加者募集

さまざまな分野で活用されている
ドローンを操縦してみよう。

【日時】令和7年7月30日(水)
①10時②11時③13時④14時⑤15時

【場所】県立淡路文化会館 講堂
(淡路市多賀600)

【参加費】無料

【参加要件】淡路地域在住の小学3年~6年生と
その保護者

【募集人数】①~⑤ 各回小学生6名程度
(応募多数の場合は抽選)

【申込方法】7月2日(水)までにWebで

【問合せ】淡路青少年本部
TEL 26-2150

申込フォーム→



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆第17回永田青嵐顕彰全国俳句大会 作品募集

淡路島が生んだ偉人、永田青嵐を顕彰する俳句大会を開催するため、広く作品を募集します。

■ 代表選者 稲畑 廣太郎氏(俳誌「ホトトギス」主宰)
選者 正井 良徳氏、三根 香南氏、木下 圭子氏、
高野 さち氏、鬼本 英太郎氏

■ 投句要領
未発表の近作1人2句以内(有季定型・投句料無料)。
本大会投句用紙又は任意の様式に必要な事項を明記の上、郵送・FAXまたはE-mailで投句してください。

(こちらのQRコードからも投句可能→)



■ 募集部門 (1)一般の部(2)学生(小・中・高校生)の部
■ 締切 令和7年9月30日(火) 当日消印有効

申込・問い合わせ先: (一財)淡路島くにうみ協会
電話: 0799-24-2001 FAX: 0799-25-2521
Eメール: awajishima@kuniumi.or.jp
ホームページ: <https://www.kuniumi.or.jp>

インフォメーション



◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799-36-2314
☎0799-36-5408

玉青館・古代鏡展示館
共同企画特別展
「漢王朝 鏡とやきものーそのとき
日本は弥生時代だったー」

今から2000年程前に中国で栄えた漢王朝のやきものと鏡を展示いたします。古代鏡展示館が所蔵する優れた美術工芸品を是非ご覧ください。



同時開催 戦後80年 「模型で見る戦禍に散った海の記憶」展

太平洋戦争中に軍の徴用を受け、犠牲になった民間船舶は七千隻以上あります。故中山公利氏制作の精巧模型を通して、薄れゆく戦争の記憶と悲惨さを伝えます。

【日時】 3月20日(木)～7月6日(日)
9:00～17:00
(入館は16:30まで)

【休館日】 月曜休館
(月曜日が祝日の場合は翌平日)

【入館料】 大人 500円
高大生 300円
小中生 150円
※小中生は「ココロカード」
「のびのびパスポート」利用可
入館無料



◆洲本市文化体育館

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎ 0799-25-3321 ☎0799-25-3325
☎火曜日休館 時9:00～21:00

爽美会 日本画展

日本画の展示会
【日時】 6月7日(土)～9日(月)
10:00-17:00 最終日16時まで
【場所】 会議室1A
【入場料等】 無料
【お問合せ】 爽美会
担当: 富山 早苗
☎: 090-9271-1313

キムラ緑子 熊谷真美&マミーズビスケット Talk & live チケット販売開始

7月27日(日)に開催される「キムラ緑子 熊谷真美&マミーズビスケット Talk & live」のチケット販売を開始します。
【日時】 6月8日(日)9:00～
【場所】 会議室2C-2.3
【入場料等】 チケット料金
6,000円 [全席指定]
【お問合せ】 洲本市文化体育館
☎: 0799-25-3321
FAX: 0799-25-3325
【チケット販売】 洲本市文化体育館窓口
http://eplus.jp/sumoto_buntai/

第37回淡路ハンドメイドクラブ 作品販売会

洋服・バッグ・雑貨・陶芸ほか、プロからアマチュアまでさまざまなメンバーがひとつひとつ手作りした作品を展示販売します。
【日時】 14日(土)11:00-17:00
15日(日)10:00-17:00
【場所】 会議室1A
【入場料等】 無料
【お問合せ】 淡路ハンドメイドクラブ
担当者:小原(コハラ)
☎: 0799-26-1818

洲本高校ミュージックダンス部 78期生卒部公演 LAST LIVE 2025

洲本高校ミュージックダンス部
3年生卒業ライブ
【日時】 15日(日)開場 13:30
開演 14:00
【場所】 文化ホール『しばえもん座』
【入場料等】 入場無料 ※整理券必要
事前申込 [全席指定]
【お問合せ】 洲本高校ミュージックダンス部
☎:0799-22-1550
(洲本高校・山崎)

◆淡路人形座公演案内

6月公演案内

受け継がれる淡路人形 五百年の歴史がここにある

1日(日)～17日(火)・26日(木)～30日(月)

10:00～/15:00～

「バックステージ」「人形解説」「戎舞」

11:10～/13:30～

「人形解説」

「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

20日(金)～24日(火)

10:00～/15:00～

「バックステージ」「人形解説」「戎舞」

11:10～/13:30～

「人形解説」

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」

【料金】

大人1,800円/中高生1,300円

小学生1,000円/幼児無料

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【定時公演】

10:00/11:10/13:30/15:00

30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。

※15日前までの事前予約が必要です。

【臨時公演】 9:00/16:00

【6月の休館日】

4日(水)/11日(水)/12日(木)

18日(水)/19日(木)/25日(水)



【お問い合わせ】 淡路人形座

☎656-0501

兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先

☎0799-52-0260

☎0799-52-3072

Mail awajiningyo@gmail.com

インフォメーション



◆淡路市立しづかホール

神楽道-神楽健康教室-生徒募集

初めての方も大歓迎！柔軟、ツボ押しなどの健康法・すり足などの基本所作・神楽舞実践稽古・古典的作法の指導・講和など。ご興味のある方は是非、体験してみてください。

【講師】表 博耀(オモテ ヒロアキ)
日本国エンターテイメント
観光大使・創生神楽宗家

【日時】6月26日(木)
17:30-20:00

【場所】リハーサル室

【対象】幼児～(年齢制限なし)

【料金】¥1,500(月1回)
(初回体験 ¥500)

【服装】軽い体操のできる服装でお越し下さい。

篠笛教室生徒募集

日本古来の文化、大自然や生活と深く結びついた楽器を奏でて、音を楽しみます。

また想像したものを形にして創造していく中で、自身を開放し表現できる力を育みます。ゆっくり基礎から学べます。

【講師】嶋本かおり

【日時】●6月5日(木) ●6月19日(木)
18:00-19:30

【場所】リハーサル室

【料金】¥1,500(1回)※初回体験500円

【申し込み・問い合わせ】

淡路市立しづかホール

休館日：火曜日

TEL:0799-62-2001

MAIL:info@shizukahall.com

ホームページ：<http://shizukahall.com/>

◆淡路島国営明石海峡公園

アジサイ・ラベンダークラフト

【日時】6月14日(土)・15日(日)

21日(土)・22日(日)

受付：10:00～16:00

体験：10:00～16:45

【場所】ビジター棟1階

【内容】アジサイのアレンジメント作り、
ラベンダーのサシェ作り
※植物素材の状況によりプロ
ラム内容を変更する場合があります。

【参加費】

・アジサイのアレンジメント：200円

・ラベンダーのサシェ(香り袋)：100円

※別途入園料、駐車料金必要

でかボールで遊ぼう

【日時】5月31日(土)～6月29日(日)

【場所】芝生広場

【内容】利用者に自由に遊んでいただける「でかボール」約100個を貸出するイベント

【参加費】無料

※別途入園料、駐車料金必要

淡路島 国営明石海峡公園

〒656-2306 淡路市夢舞台8-10

☎0799-72-2000 ☎0799-72-2100

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

★植物展示のテーマ★ 「花の楽園～植物のかたち探訪」

〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎0799-74-1200 ☎0799-74-1201
🕒10:00～18:00(最終受付17:30)

アジサイの装飾花の集まりや、ユリの洗練された花の構造など自然が生み出したデザインはまさにアート。生きるための工夫が詰まった、機能的で美しい植物のフォルムに注目しましょう！

【見どころ】

ユリ、あじさい、ハナショウブ、アガパンサス、メディナラ、ジキタリス、ホタルブクロなど(予定)。

【料金】一般 750円

70才以上 370円

※生年月日記載の証明書提示必要。

高校生以下 無料



編集・だ・よ・り

サカナ、魚、さかな、はいかがでしたか！3市共、30年前より獲れる魚の種類も変化し、もちろん漁師さんの人数も半分以下に。大きく変化してきました。ギョ、ギョ、ギョ。獲る漁業から育てる漁業へと変化していますが、やっぱり天然が良いとおっしゃる、その『あなた』！毎日の生活排水や環境などを考えながら、周りを海に囲まれた私たち、島民が環境に配慮して、いつまでも新鮮で美味しい魚を食べられますように！

《応援隊 岡 まさよ》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしく願います。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館

☎656-1521 淡路市多賀600

☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

E-mail : info-awabun@farm-group.com

H P : <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。



淡路文化会館 美術作品展示 & ポケットあわじ制作

ボランティアスタッフ 大募集!!

淡路島の文化振興や情報発信活動に参加してみませんか？

兵庫県立淡路文化会館では、島民・県民が行う文化行事や生活創造活動の応援をしていただくボランティアスタッフを募集しています。ご興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

活動 A

美術作品展示 ボランティア

淡路文化会館の美術展示室 及び 県民ギャラリーにおいて、展示者の希望に応じて展示作業の支援を行うなど、年間を通じて美術作品展示の運営をサポートしていただきます。

- 美術作品の搬入（運び込み）補助
- 作家の方との意見交換や交流
- 美術展示や美術鑑賞に関する研修
- 美術作品の展示作業及び展示アドバイス
- 展示会の看板作成

など

- 年間美術展示スケジュールに基づいて作品の搬入や展示作業 約1時間程度
- ※ 時間帯は展示内容により変動
- ※ 各自のご都合に合わせて参加可能

【活動場所】兵庫県立淡路文化会館

- 淡路島内在住で、美術にご興味のある方
- 文化や芸術の振興に貢献したい方



イベント案内
WEBページ

活動 B

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」制作 淡路生活創造応援隊 ボランティア

淡路島の魅力を紹介する生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の企画、取材、原稿作成、編集、配布などを通じて、地域を元気にする活動にご参加いただけます。

- 地域に密着した情報誌として親しまれている『ポケットあわじ』の制作や発行に関する活動
- ・企画（特集やテーマ、取材先の選定）
- ・取材活動、撮影、記事作成
- ・原稿の編集、確認、校正
- ・配布活動

など

- 毎月第3または第4木曜日の編集会議を実施
- ※ 原則として午後2～3時開催。島内各道在任の高齢隊スタッフが集まって、楽しく新やひに情報や意見を交換する場となっています。

※ 取材や記事作成などは各自で活動となります。

【編集会議場所】兵庫県立淡路文化会館

- 淡路島内在住で、地域の情報発信にご興味のある方
- 地域情報誌の制作や編集に関心のある方
- ※ 地域各所へ配布活動のみご参加も歓迎



ポケットあわじの
WEBページ



活動内容

活動日時 ／ 場所

募集対象

お問い合わせ / お申込み

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀 600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

メール：info-awabun@farm-group.com

淡路文化会館
シニアカレッジ

いざなぎ学園の

講座を単発で受講

できるようになりました！

- 事前申込不要・当日受付
- おひとり1講座 500円(税込)

※講座により受講可否や料金は変動します。

※詳細はホームページまたは電話でお気軽にお問い合わせください。

淡路文化会館
公式WEB



兵庫県立淡路文化会館



【R7年6・7月の単発受講可能講座】

- ・6月11日(水) ハワイの文化と体にやさしいフラダンス入門(南紀江氏)
- ・6月18日(水) 午前 中国、韓国からの国際交流員が語る、もっと知ってほしい私の国のこと(李麗氏、イ・ダビン氏)
- 午後 調整中
- ・7月9日(水) 午前 東洋の叡智“中医学”に学ぶ、身体と心のハーモニー～健康体操“八段錦”～(李悦氏)
- 午後 東洋の叡智“中医学”に学ぶ、身体と心のハーモニー～‘ツボ’のお話～(李悦氏)

※予告なく変更になる場合もあります。あらかじめご了承くださいませ。

兵庫県立淡路文化会館 淡路市多賀 600 TEL:0799-85-1391

各イベント情報は変更になる場合がございます。お問い合わせは各施設へお願いします。